

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

日刊建設工業新聞

令和6年6月6日(木曜日)

見坂氏(左)に推薦状を手渡す
今井会長



全国建設業協会(全建、今井雅則会長)は4日、東京都千代田区の経団連会館で開いた理事会で、前国土交通省近畿地方整備局長の見坂茂範氏を2025年夏の参院選の職域代表者に推薦することを決めた。同日の総会後、今井会長が見坂氏に推薦状を手渡した。

見坂氏は「今まで国交省という役所の立場で建設業にいたが、今後は建設業界の立場で必要に応じて国交省にも物申すといふ意気込みだ。厳しい局面で建設業のために一生懸命やっていきたい」と語った。今井会長は「(建設業界が)誰に頼れば良いのかと考えた時、見坂氏には発信力がある。中核として活躍してもらいたい」と期待を寄せた。

見坂氏は1993年に京都大学大学院工学研究科土木工学科専攻を修了し、建設省(現国交省)に入省。関東地方整備局企画部長や官房技術調査課長、近畿地方整備局長などを歴任。今年5月に来賓として総会に出席した自民党の佐藤信秋参院議員は「全建の支援を退職した。

見坂茂範氏に推薦状 職域代表者 25年夏の参院選

を決めた。同日の総会後、今井会長が見坂氏に推薦状を手渡した。

見坂氏は「社会インフラ整備なしに地域の発展はない。地域の発展を真っ先に目指さないといけない」と力を込めた。

足立敏之参院議員は「見坂氏は入札契約に詳しい。しっかりと応援いただけた。全建の脇雅史顧問は「

いただき、見坂氏が活躍できるようになりたい」、足立敏之参院議員は「見